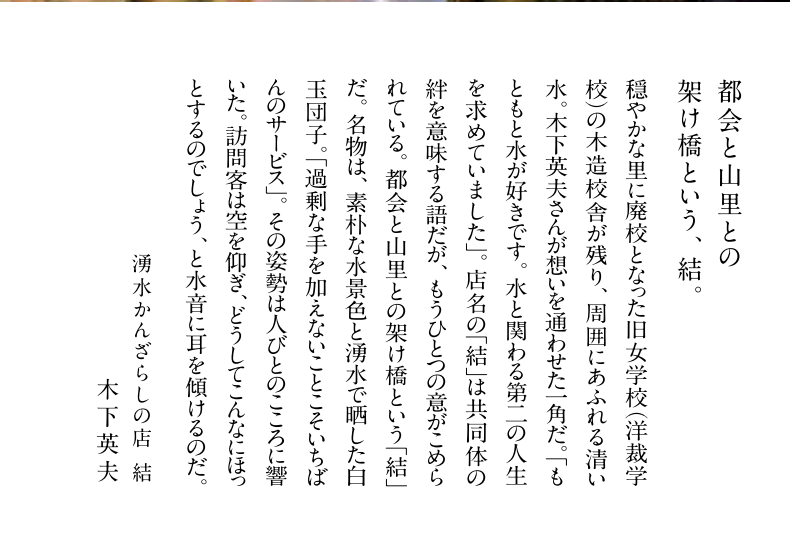




料理の達人は、米も野菜も自分で作る。閑静な和室の窓の外には、視界を遮らず田園が広がるため阿蘇五岳が迫る。それが創作懐石の店「ふじ川」の料理をいっそう引き立てる。店主の藤川孝夫さんは、若きころ陸上自衛隊員として隊員食堂の厨房を任された。隊を離れてのち、いくつもの旅館やホテルでさらに腕を磨き上げる。結婚して夢に踏み切った。夫婦ふたりでやっていく店だ。「ジューズ一本買えない日もありました、ハハ」。が、いいものは必ず受け入れられると信じ、初志を貫いた。米も野菜もすべて自分の田畑で作り、料理に仕立てる。寡黙な職人気質に、熱き情熱がみなぎる。

食事処ふじ川 藤川孝夫



都会と山里との架け橋という、結。

穏やかな里に廃校となった旧女学校(洋裁学校)の木造校舎が残り、周囲にあふれる清い水。木下英夫さんが想いを通わせた「角だ。」もともと水が好きです。水と関わる第二の人生を求めています。「店名の「結」は共同体の絆を意味する語だが、もうひとつの意がこめられている。都会と山里との架け橋という「結」だ。名物は、素朴な水景色と湧水で晒した白玉団子。「過剰な手を加えないことこそいちばんのサービズ」。その姿勢は人びとの「ころに響いた。訪問客は空を仰ぎ、どうしてこんなにはうとするのでしょうか、と水音に耳を傾けるのだ。

湧水かんざらしの店 結 木下英夫



草原を守るための試食レストラン。

日米開戦の五ヶ月前に生まれ、疎開先の里村で幼少時代を過ごした。野山を駆けずりまわり、石を投げつこし、「あれが私の生涯の体力を築きました」。あか牛専門店「緑の資産」店主の久保田一郎さんはそう振り返る。古稀を過ぎてもストープ用の薪割りや煙突掃除の仕事にだれの手も借りない。若き日、大学生協の運動に情熱を傾けた。その延長線上に人生のすべてがあるといつて過言ではない。「阿蘇の草原を守って」という理念がこの店の根幹だ。草原維持に欠かせないあか牛の普及のために立ち上げた。穏やかだが、意志の強さは並ではない。

緑の資産 久保田一郎

火の国阿蘇の  
恵みのブランド

然  
zen  
A s o C i t y

あるがまま、という貴さ。  
人と自然が共作する阿蘇。

然についてのお問い合わせは、  
阿蘇市「草・観・然」活性化事業推進会議事務局  
(阿蘇市観光課)  
TEL. 0967-22-3174 / FAX. 0967-22-4566

aso-zen.com

- 阿蘇の自然を舞台にした人びとの営みこそ大きな力を持っている、という考えで2013年秋にスタートした「火の国阿蘇の恵みのブランド-然」。活動の広報として、お一人お一人のポスターを制作しています。
- 「然の人びと」は現在も取材進行中です。輝いている阿蘇人をどしどしご紹介ください。自薦他薦を問いません。

※ 掲載された内容は取材時のものです。

今月の主な内容・CONTENTS

- ④ 2017 年 年頭あいさつ
- ⑥ 阿蘇中央高校伝統の文化祭 **湧穂祭** フォトリポート
- ⑧ 市県民税・国民健康保険税の申告 / 2月16日から
- ⑩ 新しい民生委員児童委員が決まりました
- ⑫ まちの話題
- ⑬ 食改だより ほか
- ⑮ 市役所からのお知らせ
- ⑰ 暮らしの情報
- ⑲ 人権作文 一の宮中学校 1 年 米田翔乃さん
- ⑳ **New** カルデラ 暮らし vol.1
- ㉑ 阿蘇医療センター通信 No.15
- ㉒ 図書館へ行こう!
- ㉓ 暮らしカレンダー & お慶びご寄付
- ㉔ ASO 田園空間博物館通信 No.69
- ㉕ サイクルツーリズム通信 No.2
- ㉖ 地産地消クッキング かんたん大学いも さわやかフレッシュマン 松下莉奈さん
- ㉗ **New** 阿蘇フォト on Instagram

今月号の表紙

明けましておめでとうございます。  
ことし最初の表紙は阿蘇中央高校書道部の皆さんに、ことしの思いを「書」に表現いただきました。『阿蘇再生』を書いた田中幸菜さん(1年)は「復興は道半ば。阿蘇の再生はもちろん、みんなの“心”の再生も願います」と思いを込めました。文字通り、阿蘇の再生に向かって新たな一歩を踏み出しましょう。



市役所からのお知らせ

- H29・30 競争入札参加資格審査申請書を受け付けます [P18]
- 一部損壊世帯への義援金配分基準について [P19]

暮らしの情報

- ▷ 相続登記はお済みですか?
- ▷ 老後に備え農業者年金に加入しませんか?
- ▷ 統計調査の調査員募集
- ▷ 鶏、山羊、いのしし等を1羽(頭)以上飼養する方へ
- ▷ 公開講座「阿蘇の地盤ってどうよ? ~自然災害から学ぶこと~」
- ▷ 阿蘇市長選挙 2月19日(日)投開票!

夢を追いかける青少年の声を届けます 一

# 夢を追いかけて

4月の熊本地震では、危険を顧みず懸命に捜索活動や復旧活動に当たられる自衛隊員の方々の姿に触れ、人の役に立てるような自衛官になりたいという気持ちを持ちました。

また、僕はこれまで神楽に取り組んできました。公演後には、たくさんの方々から励ましや感謝の言葉をいただきました。これからも、伝統ある神楽を引き継ぎ、多くの方々喜んでもらえるよう頑張っていきます。自分の頑張りで阿蘇や波野を元気にしていきたいです。

## 岩下 溜希

いわしたるき / 波野中学校・3年